

近現代 6 資本主義経済の影響

NO43 綿糸紡績業 2001 本

古いものから年代順に正しく配列しなさい。

- I 紡績女工などを保護するため、工場法が、さまざまな例外規定を持ちつつも実施された。
- II 綿糸紡績業は、朝鮮・中国への輸出を伸ばし、その結果綿糸輸出量は輸入量を上回った。
- III 綿糸生産の増大をはかるため臥雲辰致がガラ紡を発明した。

答→III→II→I

- III ガラ紡は、殖産興業政策の一環として行われた内国勧業博覧会(1877 年)に出品された。
- II 綿糸輸出量が輸入量を上回った(1897 年)のは日清戦争後である。
- I 工場法制定(1911 年)は第 2 次桂太郎内閣のこと。

NO44 明治期の政商や実業家 2017 本

明治期の政商や実業家に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 新政府から特権を得た住友は、三池炭鉱の払い下げを受けた。
- ② 五代友厚は、開拓使の官有物の払い下げを受けようとした。
- ③ 岩崎弥太郎は、海運業に参入し、三菱財閥の基礎を築いた。
- ④ 古川市兵衛は、足尾銅山を取得して、鉱山業を営んだ。

誤文→①

この問題ができた受験生は半分程度で、誤文選択の問題にしては低い正答率した。誤答では④を選んだ受験生が 4 分の 1 ほど。足尾銅毒事件について整理できていない受験生が意外に多いのでしょうか。③の三菱に関しては 2015 年、2010 年にも出題はあり。ただ誤答は少なかったです。官営事業の具体的な払下げ先について、少なくとも 2000 年以降は出題がなく、教科書でも一覧表になっているだけでやや細かい出題かとも思いました。しかし、三池炭鉱については、高度経済成長期のエネルギー転換を背景とした「三井三池炭鉱争議」もあるので、知っておきたい事項ではあります。

なお、財閥については以下のような出題もあり、注意が必要です。

NO45 企業勃興と財閥 2012 本

憲法や議会の制度が整えられたこの時期は、同時に経済成長が進んだ時期でもある。(b)1880 年代後半から 1890 年代にかけて、断続的に会社設立ブーム(企業勃興)が起こり、産業革命をむかえた。

下線部(b)に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 民営の鉄道会社がいくつも生まれた。
- ② 多くの紡績会社が設立された。
- ③ コンツェルンの形態による企業の結合が広くみられた。
- ④ 一部の工業分野で機械制による生産が広まった。

誤文→③

NO46 1880 年代までの出来事 2004 本

1880 年代までに行われた事柄を述べた次の文 X～Z について、その正誤の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- X 郵便制度や電信事業がはじまった。
 - Y 大阪紡績会社はガラ紡を利用して大量生産を実現した。
 - Z 工部省によって鉄道が整備された。
- ① X 正 Y 正 Z 誤 ② X 正 Y 誤 Z 正
③ X 誤 Y 正 Z 誤 ④ X 誤 Y 誤 Z 正

正解→②ガラ紡は機械制ミュール紡績機の凌駕されていく。

NO47 明治期の軽工業 2013 本

明治期の軽工業に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- a アメリカの技術を導入して、横浜に富岡製糸場が設けられた。✕フランスと群馬
 - b 大阪紡績会社は、蒸気機関と輸入の紡績機械を導入した。○
 - c 日清戦争のころに、器械製糸の生産高が、座繰製糸の生産高を上回った。○1894
 - d 日露戦争をさかいに、国内の綿糸生産高が綿糸輸入高を上回った。✕1890 年
- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

正解→③

NO48 日本の運輸・通信の近代化 2010 本

日本の運輸・通信の近代化について述べた次の文 X・Y と、それに該当するごく ad との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

- X おもに華族の出資により設立されたこの会社は、1891 年に上野から青森までの路線を開通させた。
 - Y この人物の建議により、官営郵便制度が発足した。
- a 日本国有鉄道 b 日本鉄道会社 c 森有礼 d 前島密

- ① X--a Y--c ② X--a Y--d
③ X--b Y--c ④ X--b Y--d

正解→④

NO49 官営八幡製鉄所 2011 本

官営八幡製鉄所で用いられた原料に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを下から一つ選べ。

- Aa 原料の鉄鉱石は、中国大陸の大冶で採掘されたものを用いた。
- Bb 原料の鉄鉱石は、九州地方の三池で採掘されたものを用いた。
- Cc 燃料の石炭は、中国大陸の大連で採掘されたものを用いた。
- Dd 燃料の石炭は、九州地方の筑豊で採掘されたものを用いた。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

正解→

N050 明治期の経済 2015 本

明治期の経済に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 三井・三菱などの財閥の出資によって、小作地率は低下した。官営だよ！
- ② 1880年代のデフレーションによって、八幡製鉄所が設立された。
- ③ 地主は、株式・公債などへの投資に消極的になっていった。
- ④ 官営の工場は、あいついで民間に払い下げられた。

正解→④

N051 明治期に定められた制度・法律 2013

明治期に

●産業革命期の農業

- ⇒米作を中心とする零細経営が中心
- ⇒輸入品におされ、綿・麻・菜種などの生産は衰退⇒製糸業発達…養蚕は盛ん
- ⇒松方財政以降、1890年代にかけて小作地率の上昇⇒【寄生地主制】の確立
- ⇒貧しい小作農は子女を製糸業など繊維工場に出稼ぎへ出す

●社会問題の発生

産業革命の進展⇒繊維産業の女工の低賃金・長時間労働・虐待

実態

- 1888【高島炭鉱事件】
- 1899ルポ『日本の下層社会』⇒【横山源之助】
- 1903【職工事情】⇒農商務省
- ×【足尾鉍毒事件】⇒【古河市兵衛】経営の足尾銅山から、【渡良瀬川】へ鉍毒の流出
- ⇒住民は上京して陳情、代議士の【田中正造】は議会で操業停止を迫る、その後天皇への直訴にまで発展 *→(早稲田大の問題と比較してみよう)



●労働運動

- 1886 雨宮製糸の女工スト(甲府)
- 1889・94 天満紡績の女工スト(大阪)
- 1897【職工義友会】結成
- ⇒アメリカ帰りの【高野房太郎】・片山潜ら
- 鉄工組合・日本鉄道矯正会などの労働組合結成
- ⇒機関紙『労働世界』

政府の対応

- 1900【治安警察法】制定
- 第二次山県内閣時
- 労働者の団結権・ストライキ権を制限
- 1911【工場法】制定
- 初の労働者保護法

●社会主義運動

- 1901 【社会民主党】結成

→結成直後に

	⇒【幸徳秋水】・安部磯雄ら、結成	治安警察法により解散
1903	【平民社】結成、『平民新聞』発行 (幸徳秋水・堺利彦ら) ⇒日露戦争反対・社会主義の宣伝	
1906	【日本社会党】結成 ⇒最初の合法的政党(第1次西園寺内閣黙認) 議会政策派(片山潜ら)と直接行動派(幸徳ら)の対立	→翌年に解散命令
1908	赤旗事件⇒大杉栄・荒畑寒村ら直接行動派検挙	
1910	×【大逆事件】が起こる 翌年、⇒【幸徳秋水】らが死刑となる	⇒社会主義運動への大弾圧 以後、第1次大戦まで社会主義は「冬の時代」となる
1911	警視庁に特別高等課(特高)設置 ⇒思想警察(思想を検挙し裁く)	

●製糸業・紡績業 2010本 2011本

△業種別に何が発展したのかをおさえる！また、年度と何が何を上回ったのかが大事！

製糸業	紡績業	綿織物
原料:繭 製品:生糸(絹糸)	原料:綿花 製品:綿糸	原料:綿糸 製品:綿布(綿織物)
座繰製糸 ↓ 【器械製糸】	手紡・ガラ紡(臥雲辰致) ↓ 紡績機械の普及 1883【大阪紡績会社】開業	手織機 ↓ 飛び杼 ↓ 力織機 1890年代【豊田佐吉】 ⇒国産力織機考案
1894【器械製糸】の生産量が座繰製糸の生産量を上回る 1909⇒清国を抜いて世界最大の輸出国に 輸出先:アメリカなど 原料・機械とも国産	⇒1890【生産量>輸入量】 ⇒1897【輸出量>輸入量】 輸出先:中国など 原料・機械とも輸入	1909 綿布輸出額>綿布輸入額

●重工業の発達

鉄道業	1881【日本鉄道会社】(民営)…岩倉具視の口利き、金禄公債を資金に ⇒東京・青森間の鉄道敷設
-----	--

	<p>1889【 東海道線 】全通(官営)、営業キロ数:民営>官営(1889)</p> <p>1892 鉄道敷設法…幹線鉄道建設、私鉄を将来買収→民鉄建設急増 青森・下関間連絡</p> <p>1906【 鉄道国有法 】…私鉄の90%を国有</p>
製鉄業	<p>1897【 八幡製鉄所 】設立…【 大冶 】鉄山、【 筑豊 】炭田、撫順炭田から 国内生産の約8割、鋼材生産に圧倒的地位</p> <p>1907【 日本製鋼所 】(室蘭)…日英資本、海軍向け兵器生産</p>
その他	<p>1905【 池貝鉄工所 】…アメリカ式旋盤の完全製作に成功</p> <p>【 財閥 】の形成⇒持株会社を中心にコンツェルン化</p> <p>4大財閥=三井・三菱・住友・安田</p> <p>おまけ 電力事業</p> <p>(明治初期)火力発電のコスト高で事業不振</p> <p>(明治中期)蹴上水力発電所の成功、高圧遠距離送電→電化が進む</p> <p>(明治末期)水力発電が総発電力の過半超える</p> <p>発電量:水力発電>火力発電(1912)</p>